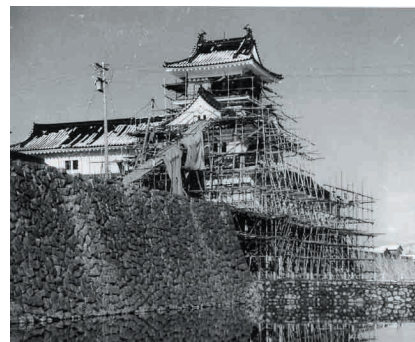


てんしゆかく けんせつ  
\* 天守閣の建設 \*

しょうわ ねん くうしゆう とやまし がいち かいめつてきひ がい  
昭和20年の空襲は、富山市街地に壊滅的被害をもたら  
しました。そして、しょうわ ねんひとびと た なお  
きた頃に建設されたのが「富山城」です。彦根城や犬山城  
など全国の現存天守を参考に、新たに慶長様式の天守閣が  
デザインされました。その姿は、すがた しょうど きおく なまなま し  
民にとって、さぞ美しく、かがや うつく かがや みらい しょうちゆう うつ  
輝かしい未来の象徴として映  
たことでしょう。



けんせつちゆう とやまじょう  
建設中の「富山城」



ぎょれつ とやまじょう  
行列ができた「富山城」

はくらんかい かいきちゆう び でんどう なづ かくしゅてんらんかい  
博覧会の会期中は「美の殿堂」と名付けられ、各種展覧会  
が催されました。さらに、さいじょうかい とやまし がい  
最上階からは富山市街のみなら  
ず立山連峰まで一望できたため、多くの人で賑わいました。  
「富山城」は博覧会の、そしてせんさいふっこう  
戦災復興のシンボルだったのだ  
です。



こくほうほうりゅうじてん しょうわ ねん  
国宝法隆寺展 (昭和38年)

はくらんかいしゅうりょうご とやまじょう とやまし りつきやうどはくぶつかん かいかん  
博覧会終了後、「富山城」は富山市立郷土博物館として開館  
しました。富山市で最初の博物館です。第1回の展覧会は「富  
山市美術展」(市展)でした。以降、郷土の歴史や文化を紹介  
する博物館として、かずおお てんらんかい かいさい おお し じん  
観覧に訪れました。

『富山市史』より



だい かい  
第13回チンドンコンクール  
(昭和42年)

きょうどはくぶつかん とやまじょう けんせつ いらい とやまし  
郷土博物館(富山城)は、建設以来富山市のシンボルとし  
て市民に親しまれてきました。チンドンコンクールや左義長  
の背景には、いつも「富山城」が写っています。市内の多く  
の小学生が写生大会で「富山城」を描きました。「富山城」  
は富山市の景観に、市民の意識の中に溶け込んでいます。

けんせつ はんせい き へいせい ねん やく ねん たいしんかいしゅうこうじ おこ  
建設から半世紀。平成15年からは、約2年をかけて耐震改修工事を行うことになりました。  
ランドマークの「富山城」には覆いがかかけられ、博物館はしばらく休館です。

さなか へいせい ねん がつ けんせつ ねんめ むか とし し じん した  
そんな最中の平成16年7月、建設からちょうど50年目を迎えたこの年、市民に親しま  
れ続けてきた郷土博物館(富山城)は、富山市のシンボルとして、せんさいふっこう き だいひょう けん  
築物として国の登録有形文化財に登録されました。